

ステージ担当: 日本からの演舞者25名と神輿の担ぎ手90名の手配。当日の盆踊り、神輿、演舞などすべての演目のスケジュール管理と調整

設営担当: 櫓、ステージ、テント、照明、音響、ジェネレーター、ATM、椅子450脚、テーブル120卓、仮眠ベット、仮設トイレ、ごみ箱などの手配と設置

報道担当: 新聞、テレビ、専門誌、広告塔などあらゆるメディア媒体への宣伝依頼と原稿作成

ボランティア担当: 90名以上の日本人会会員と150名の学生のボランティアの手配と当日の受付

運搬車両担当: 来場者車両300台の駐車整理と会場へのシャトルバス手配、演舞者120名の送迎

日本人会事務局: 秋祭りに関する問合せ窓口、お礼状の作成と手配、チケットの準備等々

その他: 協賛企業のお願い(理事全員)、公園内外の駐車場確保と会場内の警備員手配(青年部)

以上12部門の担当者に加え、好祭會の皆様、日本グアム旅行協会(JGCA)、日系建設協会(JCI)、70名以上の日本人学校の先生方と生徒さん、亀田総合病院メディカルサポート、アクアマインド社など大勢の皆様にご協力を頂いております。

当日は北朝鮮によるグアムへのミサイル発射予告により日本旅行者が激変する向かい風の中集客が心配されましたが、幸い天候に恵まれ大勢のお客様に来場いただきました。

祭は予定どおり14時に開場し、食品、ドリンク、ゲームなどの各ブースも営業をスタートしました。新設ステージでは、南京玉すだれ、大正琴、踊り、合唱、よさこいソーラン、国歌斉唱、在ハガツニャ日本国総領事挨拶、ルテガバナ挨拶、会長挨拶、神輿、盆踊りと種々のプログラムは順調に進行され、人気司会のコンビハンク&ひろ子さんの演出により大いに盛り上がり上がっております。

場内では90名余りの日本各地からの神輿の担ぎ手により勇猛かつきらびやかに2体の神輿が舞、大型ハイビジョンを配した櫓周りにはローカルの皆様も加わって盆踊りの輪が広がり18時頃には広い会場は祭を楽しむ人々で埋め尽くされました。

領事館ブースではローカルに人気の黄な粉とあんこの搗き立てのお餅がふるまわれ、各食品ブースでもレストラン自慢の料理を求める人々で長蛇の列となり用意していた32,000の食品が相次ぎ売り切れになるほど大変な盛況でした。

一方人気の大型マグロの解体ショーは魚に恵まれず残念ながら中止となりました。

終盤には花火が打ち上げられ、21時、38回秋祭りも皆様に惜しまれながら閉場となりました。

今年の秋祭りの入場者数は過去最高との評判で40,000以上の来場者に恵まれ大盛況でした。

売上は\$222,330、経費を引いた残金\$56,000はすべて日本人学校に寄付をさせていただきました。秋祭りに掛けたボランティア500人のPassion(情熱)とPride(誇り)は大きな成果となり顕われました。

日本コミッティはもちろんローカル企業も含め大勢の皆様の絶大なるご支援とご協力に深甚なる感謝を申し上げます。

*日本人会秋祭りはGVB(グアム政府観光局)とGHRA(グアムホテルレストラン協会)が主催する恒例イベントにおいて2017年度ゴールデンラッテ(大賞)を受賞し名実ともにグアム最高のイベントとの評価を受けました。

青年部 関口雄二 吉野文秋 野口巨樹 以上3名

渉外広報部

副部長 ダカナイ 敬子

渉外広報部は2017年も例年通り主な活動は毎月の会報誌「ラッテ」の発行と秋祭りの広報関連でした。

12回のラッテはその月の広告の件数などに合わせてページ数を調節し、予算オーバーにならないよう気をつけて行いました。

ラッテの内容に関して、秋祭り号は大変評判がよいと聞いておりますが、そのほかのトピックに関して読者の皆様がどのように思っているのか、これまで計測する機会がなかったかと思っておりますので、来年度以降何らかの機会を設けて、読者の方が何を期待されているかを知るのも製作の一助になるのではないかと思います。

秋祭りの広報に関しては、2016年の体験を踏まえ、2017年は早め早めに行うという認識のもとスタートしましたが、最終的にはまた遅れてしまいました。これはひとえに実行委員皆様との認識の共有が不足していたために他ならないという実感から、来年用にカレンダーを作成し、引継ぎをいたしました。2018年度はこのカレンダーを活用していただき、100%有効な広報活動を行い、お祭りの更なる成功に寄与できれば幸いです。

また、日本人会HPの内容に関しては、年度当初「売ります買います」のページが休眠状態となっているところを解消し、会員の皆様にもっとHPを閲覧していただけるようにしたいと考えていましたが、もろもろ課題を解決するに至らず、来年度への持越しとなります。

一方、トップページの企業広告スペースに関しては、理事をお引き受けくださっている皆様へのベネフィットとして、数ヵ月毎のローテーションを組んで活用することで理事会の承認を得ました。

総務部

部長 長田 博文

(1) 会員数

【2017年度末の会員数】 法人会員 109社
個人会員 149名
準会員 12名

(2) 事務局運営

開局時間は、月、火、木、金の週4日。午前10時から5時まで。ニュース編集、広報関係、ライブラリー管理としてとして小熊陽子、会計、保険、庶務業務として芳賀悦子のスタッフ2名体制で事務局運営にあたっております。

(3) ライブラリー

蔵書数 3,646冊。DVD 1,242枚(今年度寄付33枚)
このうち、本年度皆様よりご寄付いただいた蔵書は、661冊。秋祭り会場や、年に2回の事務局のみの市にての販売を行いました。更に会員の皆さまにお役に立てるライブラリーの充実を図りたいと考えております。

(4) 日本人会名簿

印刷をトロピカルカラーに依頼をし、800冊の名簿の発行、会員への配布を行いました。日本人会名簿は会員相互の輪を広げる事に役立つのは勿論ですが、会員の皆様の大切なID代わりとも言える重要な役割を果たしております。会員保険加入、サークル活動参加、ライブラリー貸し出し時の確認等も関係してまいりますので、掲載漏れがない様に努めてまいります。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。